



ロータリーは機会の扉を開く
2020～2021年度

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ホテル千成
Tel:0439-52-8511

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-27-0622

Vol. 28 No.2147 2021.6.14

令和3年6月 第2例会 曇

開始点鐘 荒井潤一郎会長
R ソ ン グ 我らの生業
四つのテスト 早見 秀一会員
会 員 秋元 直樹様(豊栄電業(株))

【出席報告】 免除者3名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2147	57	56	42	14	75.00 %
2146	57	56	46	10	80.70 %
前々回の修正	メークアップ	0名			80.00 %

(敬称略)

会長挨拶及び報告

荒井潤一郎会長

クラブ例会について、お話しします。ロータリークラブは、原則として毎週決まった時間と場所で例会を開催します。(ただし、クラブ細則で例会回数や開催方法を別に規定する事ができますが、毎月最低2回は開催する事)となっています。例会の場で職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれる、とされています。

この例会における一連の活動の事を「親睦(Fellowship)」と呼びます。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践しようという事だと思いません。即ち「入りにて学び、出でて奉仕せよ」であります。

ロータリーでは、例会への出席は義務とされ、最も重要視し、その規制も非常に厳格です。自クラブの例会に出席できない時は、他クラブの例会やロータリーのその他の会合に出席する、メークアップという方法で通常の例会欠席を補う事もできます。

こうして厳格化されている例会ですが、今年度もコロナ禍で例会の中止・時間短縮があり、皆様とお逢いする時間がすごく少なかったせいか、何かぼ

つんと穴が空いたようにも感じました。やはり、例会で皆さんと顔を合わせ、挨拶を交わし、食事を共にし、会話をする事は大切だし、良いなと再認識しました。

これからも、例会に出席できる「機会の扉を開いて」色々と学びたいと思います。

報告

- 2021-22年度 梶原ガバナーより、地区役員委嘱状が届いておりますのでお渡しいたします。

地区諮問委員会 秋元 秀夫会員
 第5グループガバナー補佐 鈴木 荘一会員
 ロータリー研修委員会 委員 谷 浩司会員
 地区幹事団 ガバナー補佐担当幹事 荒井潤一郎会員



国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク
ガバナー 漆原 摂子
ガバナー補佐 窪田 謙

会長 荒井潤一郎
会長エレクト 岡野 祐
副会長 谷口弘志

幹事 福田 順也
編集 大浦 芳弘

幹事報告

福田 順也幹事

〈配布物〉

1. 例会プログラム
2. 次年度年間プログラム・次年度委員会構成表
3. ロータリーの友(6月号)

〈回覧〉

1. 君津RC週報
2. 第5グループ週報
3. 次年度活動計画書校正

第5グループガバナー補佐就任挨拶

鈴木 荘一ガバナー補佐

第5グループ担当の鈴木荘一です。所属は君津RCです。妻1子4人。職業分類は造園土木で浅学非才ではありますが、よろしくをお願いします。私は皆様と違って大きな志やキッカケもなく、ただ家業がニッチモサッチモいなくなり、跡を継ぎました。知識も技術も自信がないので借金を返す為、一生懸命安く、効率的にやり繰りするにはどうしたらいいだろうと思案する毎日でした。今度一万円の顔になる洪沢栄一さんが大河ドラマなどで流行っています。その中で「論語とそばん」という著書がありますが、職業人として、人として何が大切か？これからは殊更大事に問われる時代なのかもしれません。日々勉強をして良い友を持つ事、これが人生最上の楽しみという項が最も大切な教訓としていますが、お互い切磋琢磨して学び、得たものをさらに友に伝え、そして転々として善を及ぼす事。私もロータリーに入ってよかった事は、人としてどうありたいかという事をクラブの皆様との付き合いを通じて、学ばせていただきながら、職業人として自信がついたような気がします。またR活動が人生の悩みや矛盾の緩衝材になり、グループ会員の皆様に温かく、時には厳しくご指導をさせていただいて感謝しています。

梶原年度が始まるにあたり、地区の一員としてグループ再編成、そしてガバナー補佐の選任についてコロナ禍だったとはいえ事前の通達及び説明が不足し、混乱とご迷惑をおかけしました事、深くお詫び申し上げます。こちらについては、鶴沢ガバナー年度までじっくり地区の皆様と協議をしながら実現します。皆さん、ご意見とご指導のほどよろしくお願いします。またガバナー補佐幹事は同じクラブの荒井潤一郎さん、福田

順也さんです。

梶原ガバナーはRIの規定に沿って忠実に仕事をする事、地区内会員の皆様との融和を大事に、5年後、10年後に地区の皆様が、振り返って良かったと思えるような年度にしたいと考えております。テーマとして掲げられているのが「LOVE Other Sprit～安心安全な社会、国際社会の平和を次世代につないでいこう～」とテーマを掲げております。今回の地区の再編成、ガバナー補佐の選出問題は、実は梶原ガバナーが地区リーダーシッププランについて忠実に実行しようとした中で起こった事なのです。国際ロータリーは2000年よりこのDLPを提唱しています。これは、この20年間会員が横ばいの現実を受け、様々な大学関係者ですとかビジネス関係者も参画して強い組織になる為に作り上げられたプランです。そのプランを提唱されて20年過ぎ、2790地区で本格的に取り組もうとした事で生じた結果です。周知が徹底していなかった、地区の組織の中での課題も露呈されました。それらも踏まえ、より良い組織造りの為、DLPの実施にご協力をお願いします。

また今年からIMなどの取り組みが変わります。第6グループの皆様と一緒に研修会、セミナーを開催します。そして地区全体として9月、10月と公共イメージ向上のイベントも企画しています。

ロータリーとは関係ないセミナーで倒産する企業や、滅んだ文明は〇〇がなかったから滅んだ、倒産したと聞きました。これは何か？情報です。ですから私は、第5グループの皆様にはできるだけ多くの情報をお伝えして、そして皆さんの地区への要望をお届けするのが私の役目と思っています。

ロータリー100周年を祝う会の動画を見ました。元RI会長の田中作次さんは「ロータリーは世界をより良くする為に立ち上がる方法。小さい事、最悪な事をできないと考えたり、どうすればいいか判らないであきらめず、手を動かし活動する事。世界最大の奉仕団体を目指す」と、また千玄室さんは「今ある自分の立ち位置で全ての障害を乗り越えて心身、自分自身を捧げる「奉仕」という細やかな事を職業を通じてどのように世の中に役立つか？この100年を土台に次の100年を考える、難しくしないで簡素な方法で。頭を下げて入ってもらうのではなく入りたいと思うような魅力を作る。大きな変化の中で事故がなく安心して走れるハイウェイを作る。心から信じ合えるメンバーと善良の波を地域社会へ送ろう」とご挨拶されています。

コロナ禍でますます精神的、物理的つながりが近く、身近な家族や仲間を大切にしていこう時代になると言われています。洪沢栄一さんの推奨する論語の中で孔子は最後弟子に「人が生きていく上で最も大切な事は何ですか？」という質問した人に対し「思いやり」と答えています。私は様々なデータや情報に「思い」をのせた生きた情報を伝え、第5グループの皆様



様が楽しいロータリー活動ができるようにと考えます。
どうぞ一年ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

公共イメージ向上委員会 ロータリーの友6月号紹介

大浦 芳弘会員

ロータリーの友6月号の紹介をいたします。今年度の委員会メンバーによるロータリーの友紹介は、今回が最後となります。

まずは、右開きの縦書きの記事から一つ紹介します。樹木医であり松保護士である梅津様の講演を記事にしたもので、内容は山形県の庄内海岸林のこれまでとその保護活動に関するものです。海岸に広がる砂浜から海岸林までを庄内砂丘と呼び、広さ的には鳥取砂丘を優に凌ぐ広大なものだとの事です。私は砂丘と言えば鳥取が思い浮かぶだけで、このような事は初めて知りました。今では砂丘に海岸林が広がり、これが海からの強風を遮り、庄内平野の豊かな米作りに代表される農業、生活されている方々の暮らしを守ってきたとの事です。ただ、この砂丘における海岸林も自然にできたものではなく、苦勞した方々がいてこそ現在の状況があると記載されています。戦後、柵を建て、一冬の間の風で砂を貯める、また柵を建てて砂を貯める、これを繰り返して砂丘を高く大きくし、そこに砂草を植えて地面を安定させ、その後クロマツが大きく育って現在の姿になっています。ただ、この砂丘も順風満帆な事ばかりではなく、開発による荒廢も経験しているようです。現在酒田北港として整備されているところは、元は鳥海国定公園として指定されていた場所で、1971年7月1日の環境庁発足の前日となる6月30日に港として開発する範囲が国定公園指定から解除され、開発が進められたようです。ご多分に漏れず、開発したものの企業誘致は上手くいかず、計画通りにはいかなかったようです。この松林を将来に繋ぐ為に、教育機関、保全団体、地域住民、企業、森林組合、森林保有者が連携して森に絡んでいく体制づくりが重要であり、ロータリークラブのような色々な業種の経済人が集まっている団体が、イベントなどにより高く深い認識を地域に広めていく事が大事だとも仰っています。

次に、左開きの横書きの記事についてですが、2020年6月26日に当時のマローニー会長が「環境」がロータリーの重点分野に加わると発表された事を受けて「環境」に関するグローバル補助金の対象となるプロジェクトの紹介他が掲載されています。その中に、「環境」を加える事になったのは「何が決め手になったのか」という、マローニー元会長へのインタビュー記事が掲載されていますので、その内容を紹介しておきます。

「私はいわゆる環境保護論者ではないが、気候変動は私の孫や未来の世代に影響を及ぼす問題であり深刻な懸念を抱いている。ロータリアンやロータリアン候補者他を対象とした調査では、どのグループでも「環境」が関心事のトップ5に入っていた。このような方々がロータリーのウェブサイトアクセスして重点分野に「環境」が含まれていない事を知るとロータリーとは別の選択へと進んでしまう。環境問題は本質的に取り組まなければならない問題であり、ロータリーの成長とも密接に関係していると考えた。環境への取り組みを強要するつもりはなく、環境に興味があれば、環境に関するプロジェクトにグローバル補助金という資金を得る機会を提供できるという事です。これまでに「環境」を重点分野にする事に異論を唱えたロータリアンには会っていない。」

これを読んで、まだ地球温暖化問題に関する京都議定書が採択されて間もない頃、まだ炭酸ガスが地球温暖化を引き起こすという事に疑念を持っている方々が多くいた時代でしたが、この問題に疑念を持っているが取り組みを進めるとい方にお聞きした話を思い出しました。「炭酸ガスが地球温暖化を引き起こすという事には大きな疑念を持っているが、仮にそれが正しければ問題化してからでは手遅れになるという事には疑念はない。今から対策を打たねばならないと考えている所以である。」

2050年のCO2排出ゼロあるいはカーボンニュートラルを目指すと表明する政府や各種団体、企業が増えていく中、改めて考えさせられました。

入会者自己紹介

秋元 直樹会員

この度、三木造園土木の鈴木 莊一様よりご推薦をいただき、君津ロータリークラブに入会させていただきました、豊栄電業専務取締役の秋元直樹と申します。1978年8月30日生まれの42歳です。5歳の頃、父親の転勤で福岡県北九州市の小倉に引っ越し、新たな生活を送りますが、6年生の半ば頃に父親の転勤でまた千葉県富津市に戻ってきます。最初の転勤の時は私自身幼かった為、言葉の違和感は判りませんでした。約7年間小倉の生活で北九州弁が身につけており、転入先の小学校では方言、アクセントの違いに少し苦勞しました。ですが良き仲間恵まれていつの間にか私も富津弁を普通に話せるようになっていました。私は小学、中学、高校と9年間野球一筋で励んでおりました。その後、電気系の専



門学校に進学しますが、高校3年の秋頃に始めたサーフィンに夢中になり専門学校に行くより海に行く事のほうが多かったです。今思うともっと真面目に勉強をしていればと反省しております。ですが、サーフィンを始めた事により今の奥さんと出会い、29歳の時に結婚をして現在6年生、4年生、2年生の3人の子供に恵まれました。ちなみにですがサーフィンは今も続けております。

専門学校を卒業後、JR関連の日本電設工業に入社して熊本新幹線つくばエクスプレスの開通や新宿駅10年計画工事など電車線工事に携わってきました。私が特に思入れがあるのは、2004年に発生した新潟県中越地震の電車線路復旧工事に出勤した事です。この震災復旧工事で色々な経験をさせてもらい、多くの事を学びましたが、現地の被災者の方々に何もできない無力な自分がある事を痛感し、多くの事を考えさせられる出来事でした。この数年後、電気分野を広げようと思い会社を退職して地元に戻り、2009年に父親と現在の会社を立ち上げます。2019年に10周年という節目を迎える事ができ、ホテル千成さんで祝賀会をさせていただき、更なるビジョンを掲げ、地域に愛される会社を目指し、社員一丸となって社業に邁進しております。

今現在、私は第20期富津地区青少年相談員を務めており、社会奉仕、青少年の健全育成活動に力をいれております。今年が任期最後の年となりますが、コロナの影響で思うような活動がなかなかできず、中止になる事が多く非常に残念です。

今回、君津ロータリークラブに入会させていただき、ロータリークラブの皆様と共に活動を行い、親睦を深めさせていただきながら奉仕理念に基づき、自己の成長と社会奉仕で少しでも地域の皆様の為となるよう一生懸命頑張っておりますので、これからご指導よろしくお願いたします。

簡単ではございますが自己紹介とさせていただきます。

退会セレモニー 退会挨拶

別府 明人会員

皆さん、こんにちは！

高田工業所の別府です。この度、6月29日付で北九州の日本製鉄九州製鉄所構内にごぞいます、八幡支社での2度目の勤務を命ぜられました。それに合わせ、大変残念ですが、君津ロータリークラブも退会させていただきました事となりました。私は2017



年4月に前任の荒井の後を継いで入会させていただき、4年と3か月の間クラブでお世話になりました。

私の今までの人生では、ロータリークラブのような奉仕と親睦を目的とする団体に直接携わる経験はございませんでした。皆様が熱き思いで地元の更なる発展を願い、また様々な地域や国の人々と奉仕・親睦を通じて積極的に関わる姿勢には、学ぶものが大変多くございました。特に今年度は荒井会長の下、親睦委員会委員長を務めさせていただき、委員の皆さんと協力しながら活動を行い、大変良い経験をさせていただきました。たまたまですが、年度途中での退任・交代とならなかった事も良かったと思っております。この君津ロータリークラブでの経験を私の今後の人生にしっかりと活かして参ります。

私の後任は、新支社長として“馬場孝弘(ばばたかひろ)”が入会させていただき予定でいます。馬場は九州生まれですが、大阪堺で長く勤めました。既に君津に赴任して、1年半以上この地で過ごしております。気は優しく温かな性格ですが、筋は通す男です。どうか仲良くしてやって下さい。

九州の地から、HPを閲覧などして皆様のご活躍と元気なご様子を拝見させていただきたいと思っております。君津ロータリークラブそして君津かずさ地区の益々の発展、会員の皆様やご家族、関係者の方々のご多幸とご健康を祈念いたしております。

本当にお世話になりました。

会員卓話 「水の話」

伊藤 彰会員

日鉄環境株式会社の東日本支店長を務めております。伊藤でございます。今日は、ロータリークラブの会員卓話のお時間をいただきありがとうございます。

本日の卓話では私共の会社概要、私が学生時代から水に関わってきた中でのエピソードをご紹介します。皆様様の卓話のように洗練された話もない点、ご容赦いただければと思います。

さて、日鉄環境株式会社というのは馴染みの無い方も多いと思っておりますので、簡単にご紹介いたしますが、昭和45年に当時の八幡製鉄株式会社が君津製鉄所を建設するにあたり、製鉄所の水道設備、水処理設備、排水処理設備の運転・操業・整備を一手に引き受ける為に設立された会社でございます。昨年、当社は50周年を迎えましたがその間、君津製鉄所での鉄鋼製造に



必要な水関係のお仕事に携わってきました。

50年を振り返ると初期の頃は製鉄所拡張・拡大に伴う水道設備、給排水管の操業立ち上げ、インフラ設備の建設などが中心となっておりましたが、時代と共に環境規制の高まりに伴い、高度な廃水処理技術の開発・実機化の取り組み、更に昨今は地球温暖化での豪雨・台風に対するBCP対応などに取り組んでおります。

鉄鋼業は、鉄1トン製造するのに水は100~150トンも使用する用水多消費産業でありまして、製鉄所を建設立地条件としては河川水や海水が豊富な地を選ぶ訳ですが、製鉄所の用水は全て小糸川で賄っております。小糸川は、当時としては非常に水量が少ないほうで、その為、汲み上げた用水を如何にリサイクルするかが当時の最大のポイントでございました。昭和40年代に用水のリサイクル率が90%を達成した当時としては、画期的なインフラ設備を扱う事になりました。当社は君津地区に約700名の社員がおり、製鉄所構内での水道設備の操業・整備・建設、分析業務、また地域においては、近隣の大小の水道に関する事業も手掛けており、水を通して社会と産業の発展に貢献するという会社の基本理念に基づき、この地で皆様に貢献できるようにしています。

さて、会社紹介をだらだらと長く話してしまいましたが、では私自身の本会社にたどり着いた流れを次にお話しさせていただきたいと思えます。私は、生まれと幼少時代は京都府長岡京市というところで育ちました。ちょうど大阪府との県境に近い場所で実家の裏には天王山があり、その先には有名なサントリーの山崎工場があるところです。また近くには、明智光秀が最後に撃ち落とされた竹林があります。実は、当時は付近に浄水場などは無く、全て天王山を含む山系からの井戸水が使われており、非常においしい水を飲みながら野山を駆け回る幼少時代を過ごしてきました。

私が水の道に進むきっかけとなったのは、学生時代に「衛生工学」を専攻した事によります。「衛生工学」というのは聞きなれない方も多いと思えますが、現在は「環境工学」とか「環境ビジネス工学」とか「環境土木」「環境システム工学」とか「環境」ナンチャラという冠のついた学科は多数乱立しておりますが、その先駆的な学科でした。当時は、1970年代の高度成長に伴う公害問題の「点」いわゆるポイントからの問題から衛生～環境という「面」に広がりを持ち始めた時期であり、当学科は日本でも3つの大学が先行的に配置され、その中でも最も古い歴史を有しています。私が学生の昭和60年代はまさにバブルが始まった時期であり、衛生とか環境とか工学系でも人気が高くないところでしたが女子学生の人気は高いという特徴がありましたが、生まれつき環境問題に関心があった為、専攻に至りました。

その中で私は当時、川や湖や海における「富栄養化」防止の為、下水処理における生物処理を研究していました。「富栄養化」というのは、排水中のリン、窒素が処理されずに湖沼や海域に過剰に供給されると、プランクトンの異常発生が生じる事で赤潮や青潮を発生させてしまい、生態系に影響を与える事を言います。その為、下水処理の主流である活性汚泥という方式で、リンと窒素の高濃度処理をするニーズが高まっていました。活性汚泥というのは聞きなれない言葉ですが、簡単に言うと、バクテリアに過剰にリンや窒素を摂取させる技術の研究を行っていました。私がやっていたのは、微生物を無酸素状態と酸素状態を交互に与える事で、従来以上にリン窒素を体内に取り込む事が知られており、その状態解析をやっておりました。生物というのは面白いもので、ある特定の環境ストレスを与えるとその特性が変わった事があります。私も同様で、学生の頃は全く下戸でお酒は全く飲めませんでした。社会人を30年務めるとアルコール依存症ではないものの、アルコール無しでは充実した生活が送れない体質に変わりました。

それから、30年経過して全国的に下水処理水は改善された結果、水死値汚濁が無くなった代わりに、下水からのリンや窒素といった本来栄養源になる物質まで少なくなる事で、海産物などの漁獲量が下がるという事も最近認知され始めて、規制を緩和するような動きも出てきているようです。「過ぎたる及ばざるが如し」というように、人間活動によって生態系が変化するには長い目で見ていかないと、と今更思う次第です。

さて、話はまた変わりますが、実はこの学科で教わった事で一番印象に残ったのは「トイレに行ったら手を洗うな。水栓とか扉を触ると却って不衛生だ」という事で、必ず室内に実験用のアルコールを希釈した自家製の消毒用のアルコールが置いてあり、それで手を洗淨するという事でした。今のコロナ禍ではアルコール消毒をするのは当たり前ですが、40年も前から実は実践してきています。二つ目は、微生物を使った廃水処理の実験口座では、試薬がそのまま人間の栄養剤になる事から、その栄養剤の造り方を教わった事です。タンパク質、ペプチド、アスコルビン酸というビタミンCの元を使って栄養補給をする事でした。決して美味しい訳ではありませんが、生活の知恵という事を学んできました。特に学生時代は野菜不足になる為、ビタミンCの補給とって試薬をよく口にさせられたものです。そこで専攻した分野を活かせる会社を考えている中で、新日本製鉄に縁があり入社する事になりました。入社した直後には鉄鋼業の水処理業務ではなく、いきなり海水を奇麗にする所謂浄化技術の開発に携わりました。

私が入社した平成1年頃は、世の中、バブル景気が始まっており、その前後には製鉄所の合理化をした結

果、発生した遊休地の活用という事で、当時はディズニーランドやお台場、横浜ベイサイドなどのウォーターフロント構想を当該場所にも開発する為に、ウォーターフロント開発をする中の一つとして、人工海浜、海水浄化などの技術開発や研究を担当しました。海を綺麗にするというのは、最初、聞いた時に世の中に経験や知見、文献などが全くなく、一から手探りの状態で始める事にしました。誰も居ない港湾設備で一人寂しく開発実験を重ねており、しかも当時、日本で最も汚染されていた河川に面した海域であった事からも結構苦労しました。2年ほど開発推進しましたが、やはり海を綺麗にするには莫大な労力を要する事が分かった時点で二の足を踏みましたが、その実施してきた技術を河川浄化に応用する事ができ、とある地域の河川浄化に展開が図れるようになりましたが、やはり人間が大自然を相手にするという事の難しさを痛感した出来事でした。

その後は、約30年ほど水に関わる仕事を中心に努めて参りましたが、これからは仕事とは別に、日本名水100選を一度全て廻ってみながら、おいしい水割りを堪能するという欲望が最近ふつつつ湧いてきたのですが、残念ながらコロナ禍で遠出もままならず、まずは千葉県内の名水箇所を散策していこうかと思っている次第です。

最後になりましたが、大変纏まりの無い話で恐縮でしたが、ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

荒井潤一郎 今日のお弁当のうなぎは、活きをさばいて、蒸して、小骨を抜いて、焼きあげたものです。いかがでしたでしょうか？

福田 順也 別府会員、大変お世話になり、ありがとうございました。伊藤会員、卓話ありがとうございました。

別府 明人 皆様、大変お世話になりました。北九州へお引越しの際は、ぜひお声掛け下さい。

伊藤 彰 本日は、会員卓話の機会をいただきありがとうございました。

秋元 直樹 本日は、貴重なお時間をいただき、自己紹介をさせていただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。

岡野 祐 秋元直樹会員、これからロータリー活動共によりしくお願ひいたします。

大浦 芳弘 本年度最後のロータリーの友紹介を実施させていただきました。本日は

所用の為、途中で退出させていただきます。

坂井佳代子 ありがとうございます。

鈴木 荘一 本日は、ガバナー補佐就任挨拶をさせていただきます。1年ご指導よろしくお願ひします。

廣田 二郎 席替え抽選、何年かぶりに当たりました。これで運を使い果たさなければ良いのですが…

川村 優子 伊藤会員、卓話ありがとうございました。

黒岩 靖之 別府さん、ロータリー活動ご苦労様でした。公私共々お世話になりました。新職場でのご活躍とご多幸をお祈りいたします。

永嶋 嘉嗣 先週、また見事に宮本さんに騙されました。しかも隈元さんに指摘されるまでその事に気がませんでした。

内山貴美子 鈴木さん、ガバナー補佐就任おめでとうございます。頑張ってください。伊藤さん、卓話ありがとうございました。

宮寄 慎 伊藤様、貴重な卓話ありがとうございました。

谷 浩司 昨年からのコロナの影響で、今年は新しい動きが出始めました。この波に乗り、新たな波に挑戦できるのは楽しみです。伊藤会員、本日の卓話ありがとうございました。

梶山 健次 梅雨入りした模様です。お互い体調管理に気をつけて参りましょう。

中村 圭一 久しぶりの例会出席で、本当にご無沙汰して申し訳ございませんでした。早速、廣田さん、隈元さんから、ロータリーの精神についてご教示いただきました。やはりロータリーは素晴らしい！ありがとうございました。

篠塚 知美 伊藤会員、貴重な卓話ありがとうございました。今日のうなぎ弁当とても美味しかったです。素晴らしいお弁当ありがとうございました。

秋元 政寛 別府会員、退会は残念ですが、新天地でのご活躍をお祈りいたします。

高橋 雄一 お弁当にて、大変お世話になっております。またの機会によりしくお願ひします。

坂本 直樹 別府会員、色々とお世話になり、あ

りがとうございました。新天地でのご活躍をお祈りいたします。伊藤会員、卓話予定が変更・変更となる中、本日はありがとうございます。

倉繁 裕

別府会員、色々とお世話になりました。北九州での勤務との事ですので、今後ともよろしく願いいたします。新型コロナウイルスの全国重症者数が6月に入って減少しています。ワクチン接種の効果が一部、既に発揮されているようです。大規模接種会場の高齢者枠に空きが発生する中、一般者への展開も急げると良いでしょう。

平野 寛明

秋元様、ロータリー活動、一緒に頑張っていきましょう。

小関 常雄

いよいよ、梅雨入りですね。明るい話題を欲している今日この頃です。伊藤さん、卓話ありがとうございます。

藤代 公成

本日、関東甲信地方の梅雨入りが発表となっていました。気持ちは晴れやかに頑張っていこうと思いません。

佐々木昭博

鈴木ガバナー補佐、ご来訪ありがとうございます。別府会員、4年間お疲れ様でした。また、君津にきた時は遊びに寄って下さい。

日野 千博

伊藤会員、素晴らしい卓話ありがとうございます。

遠田 祐治

伊藤会員のお話し、楽しみです。

内藤 智介

新型コロナの影響による時短要請が、今週いっぱいでの解除を切に希望しています。来週にはニコニコできるように、前もってニコニコさせていただきます。

大森 俊介

秋元直樹会員、よろしく願いします。別府会員、お世話になりました。

隈元 雅博

秋元会員、共に頑張りましょう。伊藤会員、卓話ありがとうございます。別府会員、お世話になりました。別府さんとは枝豆収穫祭の準備の時に朝早くから車で一緒におにぎりを食べた事が一番の思い出です。新天地に行ってもロータリー精神で頑張ってください。これからもロータリー活動を頑張ります！

中野 賢二

本日の「骨抜きうなぎ弁当」は最高

でした。ブランド名は決まっているのかな～？(天使のうなぎ・ふわうなぎ・木更津うなぎ・クリーミーうなぎ・ツル肌うなぎ姫(イチオシ)・ふっくらうなぎ太郎・おもいやりうなぎetc.)

大住 昌弘

昨日、手賀沼サイクリングロードをクロスバイクで走行しました。クロスバイクは10年ぶりに新車に買い替えましたが、今までは単なる移動手段でしたが、運動不足解消の為に、手賀沼の道も近くに住みながら初めての経験でした。黒岩さんのようなハードな体力は無いので、軽く走る程度ですが、道端の低木から鳥たちの鳴き声が結構大きく聞こえて、新たな趣味になりそうです。マスク無しで、3時間ぐらい楽しめるのは気分が良いですね～関東地方も今日から梅雨入り。天気が心配です。

小幡 倅

別府さん、沢山のご協力ありがとうございます。昨日、地元の富津市側の三舟山遊歩道付近のゴミ拾いをしました。不法投棄された軽自動車、大量の塗料の一斗缶、のり付けの部材など大量のゴミでした。犯人探しができればと思い、車両車体番号、元請の会社看板を政府に提出しました。結果が楽しみです。

武田富士子

昨日、山梨に行き、さくらんぼ狩りをしてきました。君津商工会議所の福利厚生委員会で親睦旅行を予定したのですが、このコロナ禍で中止となりましたので個人的に行ってきました。さくらんぼを取り、口に入れて実を食べ、種は“ぺっ”と樹の下へ出す。でも今年は種を捨ててはいけなく各自ビニール袋へ入れるようになっていました。さくらんぼはとても美味でした！！60個まで数えたのですが、それ以上食べてしまいました。

